



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.706 2024.1.10

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

元旦に能登半島で震度7の大地震

被災者への緊急支援を



支援募金を訴える、のの山区議 =9日、赤羽駅東口

新しい年2024年の元旦に発生した能登半島の大地震は、亡くなった方が2000名を超える大惨事となり、未だ2万6000人を超える被災者の方々が、避難所での生活を余儀なくされています（10日現在）。

区内全域で支援募金の取り組み

日本共産党は、地元の国会議員、地方議員などがただちに現地入りし、被災者から要望を聞くなどして、救援活動に全力をあげています。党北区議員団は、区内各地の駅頭・街頭で緊急の被災者支援募金をよびかけ、10日までに寄せられた20万円以上の募金を現地に届けています。引き続き、国会議員団や都議団とも力を合わせ、被災者の生活と生業再建のための支援に全力を尽くしていきます。

(のの山けん)

二十歳のつどい

北区で新たに3061人が20歳の門出迎える

8日、北とぴあで「二十歳のつどい」式典が開かれ、新たに20歳を迎えた若者たちを祝福しました。今年、北区で20歳になったのは3061人。式典では、新成人の代表が力強く「誓いのことば」を読み上げ、会場から大きな拍手を受けました。(のの山けん)



「誓いのことば」を読み上げる新成人代表

“デジタル化・行財政改革” 山田区長が年頭あいさつ

「稼ぐ区役所」を標ぼう

4日、北とぴあで開かれた北区賀詞交歓会で、山田区長が年頭のあいさつを行い、北区の現況と今年の主要課題の一端を述べました。

さらなるデジタル化・DX化推進へ

区長が掲げる7つの主要政策のうち、第1の「区民サービスNO1の行財政改革」では、DX（デジタルトランスフォーメーション）を強力に推進するため（仮称）北区デジタル推進条例」を制定するとともに、新たな専管組織を設置して区役所のデジタル化・DX化を進めるとする一方、北区公共施設総合管理計画の改定や区有施設の“有効活用”によって、「稼ぐ区役所」をめざすと強

調しました。

公民連携で 駅周辺まちづくり

また、「100年先を見据えたまちづくり！」として、赤羽駅東口や王子駅、東十条駅周辺におけるまちづくり計画の策定を、公民連携で進めていく方針が改めて示されました。（のの山けん）



賀詞交歓会での北区民混成合唱団による演奏 = 4日、北とぴあ

板橋区・ハッピーロード大山商店街の地場スーパー店

タワマン再開発計画に反旗



コモディイダ大山店（出典・東京新聞Web版）

板橋区のハッピーロード大山商店街の再開発計画に、コモディイダ大山店が反旗を翻し、話題になっています。

7日、TBS「噂の!東京マガジン」は、「賛成から大反対へ! 商店街の再開発に何があった!？」と題した特集を放映。スーパーの社長は、当初「身の丈再開発」との話を受けて計画に賛成したが、突如100メートル超の2本のタワーマンション計画が持ち込まれ、「だまし討ち。信頼関係が崩れた」と計画反対に転じた経緯を語りました。

赤羽駅東口のみならず、都内の各地でも、タワマン計画をめぐる矛盾が広がっています。（のの山けん）